

一般社団法人 日本脳神経外科学会 データベース研究事業

(Japan Neurosurgical Database : JND)

現在、京都府立医科大学脳神経外科では、「日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database : JND)」に協力しています。2018年1月から当院脳神経外科に入院された患者さんの臨床データを解析させて頂き、脳神経外科医療の質の評価に役立てることを目的としています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

本研究は、一般社団法人日本脳神経外科学会会員が所属する日本全国の脳神経外科施設における医療情報を登録し、集計分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すことを目的としています。

日本の脳神経外科医療の実態を可視化し、医療の水準を明らかにすることが可能になります。また、手術や治療にともなうリスク (安全性)が明らかとなり、リスク (安全性) とベネフィット (有効性や効果)を共有した上で治療方針を決定できるようになると期待されます。さらに、全国の脳神経外科医療の実態を検証することで、より良い脳神経外科専門医制度のあり方を検証するための基礎資料ともなります。

研究の方法

・対象となる方について

2018年1月から2023年9月30日までの間に、京都府立医科大学脳神経外科で診療を受けられた方

・ **研究期間**： 医学倫理審査委員会承認後から2023年9月30日

・方法

当院脳神経外科において診療を受けられた方で、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。

(1) 施設情報 (2) 患者情報 (年齢、性別等) (3) 主治医情報 (4) 入院情報 (入院年月)

日、入院経路等) (5)退院情報(在院日数、退院先等) (6)診療目的 (7)診断検査内容
(8)内科治療 (9)化学療法 (10)放射線療法 (11)手術(術式等) (12)手術情報(手術
日、術者、助手、麻酔法等)

収集した情報を分析し、日本の脳神経外科領域における以下について明らかにします。

- 手術を含む脳神経外科医療を行っている施設の特徴
- 医療水準の評価
- 手術・治療を受けた方の予後
- これから手術を受ける方の死亡・合併症の危険性の予測など
- 専門医の更新要件到達度
- 専攻医の研修目標到達度
- 脳神経外科専門医制度のあり方に関する基礎資料
- 医療機器や薬剤などの市場調査
- 臨床研究、治験^{注)}などを計画する際の基礎資料

注) 開発中の薬剤について、国から承認を受けるために行う臨床試験のことを治験といえます。

・研究に用いる試料・情報について

上記(1)～(12)の情報を診療録から取得します。

・外部への試料・情報の提供

一般社団法人日本脳神経外科学会の独自データベースへインターネットを介して送付します。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの手術や治療に関する情報は、その方と関わりのない符号をつけて入力されます。新たにつけられた符号がどなたのものであるのかを記した対応表は、各施設で管理されます。この対応表は各施設内で厳重に保管し、学会のデータベースには一切提供されません。したがって、データベース運営・管理者である日本脳神経外科学会が、入力されたデータから患者さん個人の氏名を知ることはできないようになっています。

研究組織

研究責任者：脳神経機能再生外科学 教授 橋本直哉

研究担当者：脳神経機能再生外科学 学内講師 山中 巧

研究代表者：山形大学先進がん医学講座 教授 嘉山孝正

共同研究者：全国の日本脳神経外科学会専門医研修プログラム基幹施設、連携施設、関連施設として登録された脳神経外科施設

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される場合は2023年12月31日までにお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先 075-251-5013 (脳神経センター外来) 平日 8:30~17:00
075-251-5716 (脳神経外科病棟) 夜間・休日